

# 子どもも私たちを新型コロナウイルス感染から守れ

札幌と比べると、釧路市の感染はまだ低いとはいえ、人口10万人当たりの一週間の新規感染者は50・7人。(8/15からの1週間)緊急事態宣言の目安は25人です。

すでに釧路市は「緊急事態宣言」と真ん中の感染状況であることを、しっかりと認識しておく必要があります。釧路にも宣言

に準じた規制が必要でです。

## 子どもに広がるデルタ株

夏休みで子ども同士との接触は限られていたはずなのに、中学校の部活で2つのクラスターが発生、苫小牧で行われた高校のアイスホッケー大会では三ヶタの感染者が生まれました。

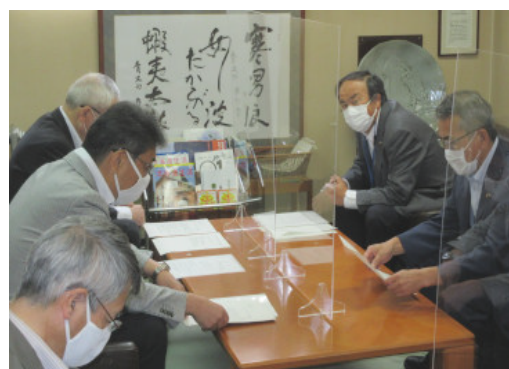
12歳以上はワクチン接種の対象ですが、実際の接種はかなり先になります。二学期が始まり、学校の中での「感染爆発」が心配されています。

## 共産党議員団は

### 教育長と意見交換

8月17日、共産党議員団は教育長、学校教育部長と「子ども

の感染をいかに防ぐか」をテーマに意見交換をしました。



緊急申し入れ

## 乳幼児・児童生徒の感染拡大にかかる対策についての緊急要望



8月23日、日本共産党議員団は、伴副市長(中央)と岡部教育長(左)に対して、要望書を手渡しました。右は村上市議団長。(要望項目は下記の通り)

- ①12歳以上の子どもに十分な知見と情報を積み上げたうえで早期にワクチン接種を行うよう国に求めること。
- ②保育士、教師、部活の外部コーチなどに、ワクチン接種、およびPCR検査を進めること。
- ③保護者が入院するなどして子どもの日常生活に困難をきたす場合には、適切な支援策を講じること。
- ④大規模校では空き教室を活用し少人数化すること。分散登校も検討すること。
- ⑤子どもがストレスを抱えていることから密を避けるなどをしたうえでの行事の実施と、バス利用の場合はバス代は公費で補助すること。



- 教育長は2学期の開始にあたり全家庭に、毎朝の検温、体調不良なら登校しないことなどの感染防止のメールを出す。
  - 部活は他校との試合は行わず校内の活動のみにするが、具体的な対応は各校長が決める。秋の新人戦はその時点の感染状況で判断する。全国大会に参加する場合には、抗原検査をしたいと考えている。
  - 教室に二酸化炭素測定器を入れ、換気に一層気を配る
- などが説明されました。

村上かずしげ通信 2021. 9. 5 日本共産党釧路市議団

## 市民と野党の共闘でチェンジ国政！9・5市民集会

14:30からYoutubeで配信

記念講演 川原茂雄氏 (市民の風北海道 共同代表)  
立憲野党の地元代表から提言  
質疑希望のかたは ZOOM で参加してください。

